

# Live in Style

上質な暮らし方を追求するライフデザイン誌 【リブ イン スタイル】

## 株式会社 ハウスプロ

Vol. 84

【特集】片付けが苦手でも片付く住まい  
◆すべては収納で決まるすっきり術  
◆ホテルライクな住居のつくり方



江戸時代の日本の家には、家具らしい家具はタンス以外ほとんどありませんでした。食事の際は現代のようにテーブルや椅子はなく、一人一人が自分専用のお膳『箱膳』で食事をするというスタイル。箱膳とは、箱の中にそれぞれ自分の食器を収納しておくのですが、蓋を返せばその上が膳となって食事ができ、終わればまた食器をしまうことができたのです。就寝の際も現代のようにベッドではなく、昔は起きたら布団を畳んで片付け、夜寝るときにまた出してきて敷くという具合に、常に片付けが習慣化されていました。昔に比べると現代は便利なモノで溢れかえり、片付けが困難な時代になったといえるかもしれませんね。しかし今の自分の暮らしに本当に必要なモノなのか、手に入れるときに今一度よく考えてみてはいかがでしょうか。また、すでに増えてしまったモノについては、いかに愛着をもって大切にしていけるか、または減らすための選別の方法を見直してみましよう。

### 動線と片付けやすさを考えたレイアウト

生活パターンの動線を知った上で収納を考えれば、使ったものを置きっぱなしにすることがなくなります。

なぜなら自分の行動と収納場所が合致していれば無駄な動作やわずらわしさが減り、短い時間で片付けることが出来るというわけです。動線とは生活する上で住居内を人が自然に動く経路のことですが、その経路がデコボコしていると動きにくくなりがち。そこで家具はなるべく一つの壁面に集中させます。家具の配置やテイスは統一させた方がよりすっきりとおさまるものです。デッドスペースになっている場所には棚や仕切りなどの収納パーツを設けるなどの工夫も有効。収納場所の確保ができれば、あとはそれぞれ収納したいものに指定席をつくり、その情報を家族みんなで共有することで散らかりを防止できます。



### すべては収納で決まるすっきり術

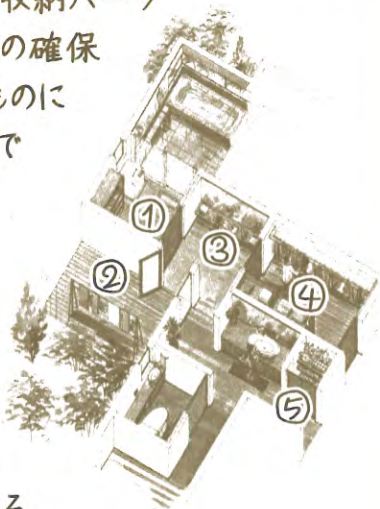
家が狭いから、収納が少ないから、と片付かないことに理由付けしていませんか。収納にはいくつかポイントがあります。まずは使用頻度と見た目の美しさ。よく使うものは取り出しやすく、しましやすい場所が最適ですが、ごちゃごちゃする場合は扉付きの棚や引き出しが向いています。また、どこに何を収納するかを考えるとき、一箇所に集めて保管する「集中型」と、使う場所に合わせて保管する「分散型」に分けてみましょう。「集中型」の代表はウォークインクローゼットです。まばらな大きさのものや、不揃いの家具など雑然としがちなものたちを、すっきり収納できます。次に目的に合わせてしまう「分散型」ですが、こちらは使う場所に合わせて収納。「便利かも」という思いつきでむやみに家具を購入せず、今ある収納におさまる分量になるよう必要なモノを見極めることが大切です。収納には目一杯詰めこまず、できれば2割ほどは余裕をもたせて、季節ごとに整理をし、適度な空間を保ちましょう。



### ランドリー用品の収納と洗濯の動線

毎日の家事の中でとりわけ工程が多く、かかる時間も長いのが洗濯。干したり畳んだり工程によって移動も大変です。そこで家事をする際に拠点となる場所であるキッチンに注目してみましょう。

その軸となるキッチンの隣にランドリースペースをもつてくると、動線上とてもスムーズに動けます。家事の効率を考えても、水回りが一箇所へ集中している方がはるかにいいのです。また、洗濯洗剤などの収納については手の届きやすい高さで効き手側に配置すると自然な動きで取りやすくなります。



- ①洗濯をする
- ②①で洗濯したものを干す
- ③乾いた洗濯ものをここでたたむ
- ④⑤たたんだ洗濯物をしまう



### 手作りインテリアを楽しむ

### 置いておくだけでオシャレ

### ワイン箱で収納をDIY

最近ではオシャレな雑貨屋さんやアンティークショップに行けば、素敵なワイン箱が簡単に手に入ります。そのまま置いておくだけでも素敵な収納ボックスになりますが、もうひと手間加えることで、さらに使い勝手のいい収納家具へと変身します。ある時はキッチンのお皿入れに、またついいたまってしまう新聞入れとしても最適。通気性があるので、ペットボトルやジャム瓶などのストックにも重宝します。木製なのでアレンジしやすく扱いやすいのも特徴です。ホームセンターで取手など必要なパーツを購入してぜひ挑戦してみたいはいかがでしょうか。

- ・ワイン箱(お好みの段に合わせて、2つまたは3つ)
- ・組み立てスチール棚の支柱(箱のサイズに合わせた長さを4本)
- ・ネジ(ワイン箱それぞれ四方の角の分の数)



## 特集

# 片付けが苦手でも片付く住まい

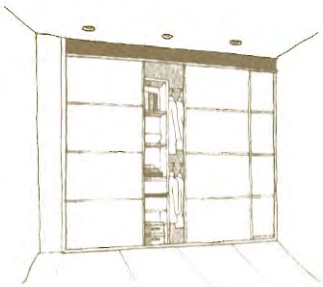
シンプル思考ですっきり片付いた快適な住まいを実現



Trend Style

### ホテルライクな住居のつくりかた

旅先で、ホテルに到着すると、すごく新鮮な気分になるのはなぜでしょう。それは日常のものが一切出していない、美しく整頓されたインテリアだからです。友人宅へ招かれた際も、すっきりと片付いている家はとても気持ちがいいもの。そこで、わが家も「ホテルのようなインテリア」を目指してみてもいいでしょうか。しかしながら、それは一時的なものではなく、家族がいつ見ても、そしてゲストがいつ訪れても、ずっときれいな空間をキープできるインテリアでなければなりません。そのための基本的なポイントになるのは、「お手本を探すこと」です。雑誌やインターネットなどで、「このような空間づくりがしたい」というホテルの部屋を探し、さらに今ある家具を活かして近づけてみるようにしましょう。



### リネンを活用して家族にもおもてなし精神を

ホテルのような雰囲気を作るのに効果的なのは、リネンをどう使っているかがポイントになります。特に寝室は、布を見せる面積が広いのでセンスの見せどころです。枕を2セット

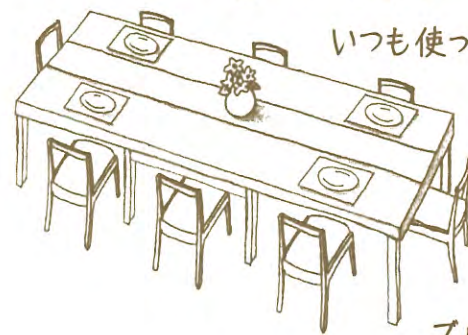


ずつそろえるだけでもホテルライクを実現します。さらには、洗面所のタオルがポイント。様々な柄のものがかかっているだけでも生活感があふれてしまいがちですが、それを白一色で統一して並べるだけで、ホテルのような雰囲気が演出でき



ます。ハンドタオルを家族の枚数をきれいに重ねておくだけでも整然としますし、バスタオルはロールケーキのようにくるくると巻いてもおしゃれ。省スペースになります。

### まずはテーブルの上から改革を ～きっかけはテーブルクロスで～



いつも使っているテーブルも、「飽きてきたな」と思ったら、一人ずつのランチョンマットを敷くだけでもおもてなしの演出に。さらにはセンターテーブルマットが1つあるだけで

も、晚餐風の演出が完成します。この直線上に、大皿を並べたり、おつまみやお花を添えるだけで、家族でパーティーのような気分が楽しめるのです。毎日が「おもてなし」の食卓になれば、家族の楽しみや会話がぐっと増えるはず。ホテル感をもたせるなら、カトラリーは色やシリーズで統一し、お皿類はすべて白でまとめるのが無難。一人ひとりのセッティングを大事にし、大層なお花でなくとも野花をグラスに一輪添えるだけで、立派なおもてなしになるのです。



### 自分ホテルを目指す美しくムダのないインテリア

お手本のインテリアが決まったら、今ある家具を動かしてレイアウトを変えてみましょう。落ち着くインテリアとは、フロアや壁の色と家具を調和させていることがほとんどです。



家具を買い換えなくても、カバーやクッションの色で統一できる場合もありますし、照明やアートの大さやテイストを付け加えるだけでもぐっと雰囲気が変わります。特にホテルは絵をかけていることが多く、フレームの大きさや色使いで、インテリアをおしゃれにしてくれます。アクセントとして、窓辺のグリーンやテーブルの上のお花などでおもてなし感を演出しましょう。きつお手本のインテリアは、こまごました小物は出ていないはず。今の空間に不必要なものがわかってくることでしょう。

### 心地いいホテルのような水回り ～シンプルでラグジュアリーな空間づくり～

ゲストが来た際に、うっかり掃除し忘れてしまう意外な場所。それは洗面所やトイレです。「ちょっと手を洗わせて」と言われても、美しい水回りをキープしておけるようにしたいものです。ホテルで気持ちよく過ごせるのは、ピカピカに磨かれたシンクやミラーの存在。蛇口をいつも磨いておくだけで、家族が心地よく顔を洗ったり歯を磨いたりできるはず。さらに間接照明を利用して、ホテルのような雰囲気を演出してみると、毎日の身だしなみもきりつとできます。ゆっくりと髪を整えたり化粧をするために、椅子を用意しておくのもいいかもしれません。液体ソープなどは、商品ボトルそのままではなく、ディスペンサーに入れ替えれば、インテリアとしても演出できます。仕上げはアロマのいい香りを添えれば毎日がフレッシュな気分。



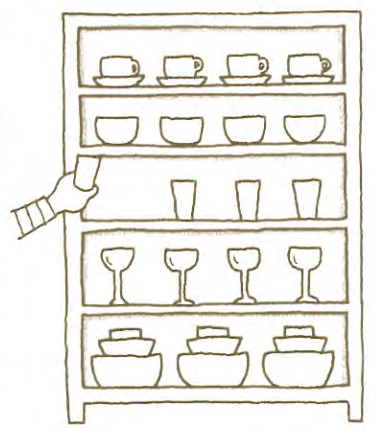
### ホテルのサロンのようなディスプレイ収納

リビングルームを快適にする手本となるのがホテルのサロンやラウンジ。ゆっくりと本を読んだり、お茶を飲んで会話をしたりできるのは、よけいな雑念が入らないインテリアだからです。たとえば、片付けられなかったモノがあふれかえっているリビングだと落ち着かないですね。そこで、収納の工夫が苦手な人でも、すっきりと雑貨が片付く方法があります。それは、壁面を活用した収納棚です。設計時から提案できるようなら、作り付けの収納棚がおすすめ。初めから棚になっていると、人は片付け上手になるものです。本やDVD、リモコンなどもすべてここに収めればすっきりを実現。



### 片付けを少しずつ確実に習慣化させるコツ

常にキッチンとしておきたい場所というのは、毎日使う物の動きがある場所。特にキッチンには、毎日の食事をする度に食器や用具の出し入れがあり、その度に片付けるのが大変です。理想を言うならば、「見せる」収納を初めからできるように、同じサイズのお皿やカップを並べるようにすると整然と美しく見えるものです。さらに色んな柄や、色んなカラーが混在しているとゴチャついて見えるので、「白」で統一するとホテルやレストランのようにおもてなし感も表現でき、整理整頓もしやすくなります。すべてのサイズを家族の人数分用意しておき、1つの料理に種類のアイテムを使うようにすれば、片付ける時も楽になるはず。さらに「よく使う物はすぐ手の届く所に収納する」という法則を作れば確実に片付けを習慣化できます。





世界のインテリア  
ハワイのレジデンス編  
From Hawaii



島の景観を保全するためか、高いビル等はなく、低層の一軒家リゾート型ホテルで形成された街並み。空や星が近く感じられ、オアフ島とはまったく異なる、のんびりとした住宅の雰囲気を楽しめます。車も走りやすく、ファミリーでの休暇やアウトドアにリピート率の高い島です。

### ハワイでのんびり暮らす別荘スタイル

日本人の多くが移住計画をするほど人気のハワイ諸島。移住は無理でも「毎年定期的に訪れる」など、リピート率が高い魅力は、日本人に優しい場所であること。日系人が元々多いため、親日家が多く、過ごしやすい環境で暮らせることが一番の要因です。今回はカウアイ島の、長期滞在で借りられる一軒家をご紹介します。

特集

片付けが苦手でも  
片付く住まい

シンプル思考で  
すっきり片付いた  
快適な住まいを実現

### カウアイ島の長期滞在型レジデンス

ハワイ諸島で4番目に大きく、かつ最も古い島であり、最北端に位置するカウアイ島。「庭園の島」というニックネームがつけられているのは、長い年月をかけて形成されたエメラルド色の渓谷、尖った山頂や険しい崖、熱帯雨林や連なる滝などの大自然の恩恵にちなんでいるからです。海や空からしか見られない絶景を楽しむために世界中から長期滞在の旅行者が訪れるため、週ごと(ウィークリー)や月ごと(マンスリー)など長いスパンで借りられるレンタルハウスが充実。旅行者用の一軒家が多く立ち並んでいるのも、この島ならではの魅力です。



### 読書や入浴タイムなど 思い思いに楽しめる工夫

カウアイ島の内陸部では、乗馬やゴルフなどのアクティビティも楽しめます。また素晴らしいハイキングコースもあり、一日思いっきり動いたあとは、入浴タイムを楽しみましょう。ホテルのようにアメニティが置いてあるところもあり、入浴剤を入れて優雅にバスタイムが楽しめます。レンタルハウスといえども、やっぱりインテリアはホテ



ルライクに統一されているので、気分が癒されます。ソファで読書をするのもよし、DVDを借りて映画鑑賞もよし、優雅な滞在をするなら、まるで住人になれるレンタルハウスがおすすめです。

### 家具つきのレンタルハウスで自宅のように過ごす

通常のホテルと異なるところは、キッチンやダイニングテーブルが用意されている点。島のビーチやアウトドア散歩を楽しんだ後は、スーパーマーケットで食材を買って「家族で料理を楽しむ」という、のんびりした生活が楽しめます。お皿や電子レンジ、コーヒーメーカーなどの備品も揃っているので、必要最低限の食事は作れるようになっています。1週間の短期から1ヶ月など長期にわたる滞在もOK。ホテルに泊まるよりも節約できる上にクローゼットや収納もたっぷりあるレンタルハウスは「この島の住人になった気分」が体感できるのが魅力です。マホガニーで統一された家具で落ち着いた雰囲気に。



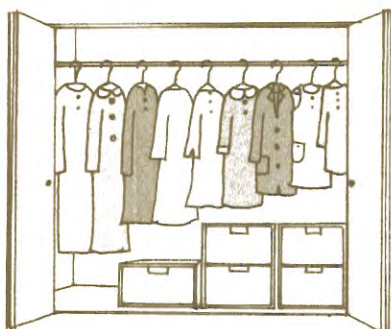
### ハワイアンキルトなどさりげなくリゾート感を漂わせて

カウアイ島には、様々な用途で使えるレンタルハウスやコンドミニウムがあります。たとえば、アウトドア派にはコテージやBBQ施設のあるもの、くつろぎの空間で過ごしたいリラックス派には落ち着いた雰囲気のものなど、お好みに合わせてインターネットでも探すことができます。タオルやシーツなどのリネンは替えにしてくれるサービスがあるので安心。ベッドルームにはハワイ伝統のキルトがかかっていたりそれだけでもリゾート感を満喫。地元の友達を招いてパーティーもおすすめ。



### 子どもの成長に合わせた収納計画

子ども部屋といっても、幼児の頃から小学校にあがるまでは、何かと両親の手助けが必要です。ついつい大人目線で収納してしまうと子どもには取り出しにくかったり、しまうのが億劫になってしまいがちです。子ども目線の背が低いカゴや透明のプラスチックの引出しに収納するとわかりやすいものです。さらに、増え続ける服やおもちゃは捨てる時を見失ってしまうもので、特にいただきものは、すぐに捨てるには忍びないもの。そういう時は写真やビデオなど思い出として残すことをおすすめします。小学生にもなると、プリントや教科書、参考資料なども増え、今まで以上に整理整頓が必要になってきます。



プリントは子供自身にファイリングの癖をつけさせ、進級ごとに処分しましょう。本や漫画は地震などで本棚が倒れてくることも考えられますので、ある程度の量になったら処分するようルールを決めておくと一定の量が保て、すっきりと過ごせます。

### まだまだ使える不用品を賢く手放す方法



ひと昔前は知り合いに譲るくらいしか活用方法がありませんでしたが、今はリサイクルショップやネットオークション、フリーマーケットなど選択肢が広がりました。外出が困難な人や時間のない人にはネットオーク

ションがおすすめ。手続きなど不安もつきものですが、取引の際に業者が間に入ってくれるサイトもあり、意外と簡単に利用できるのです。出品したい物の写真を撮り、入札があれば商品を丁寧に梱包して落札者に送ります。背景やアングルなど写真に気を配ると高値がつく場合もあります。ただし、傷や汚れはきちんと申告しましょう。インターネットでのやり取りが不安という人にはフリーマーケットがおすすめ。自分が愛用していたものを買っていく人の顔が直接見られ、コミュニケーションの場として楽しめるのも魅力。まずは地域の情報誌やインターネットなどで開催情報をチェックし、事前に申し込みをしておきましょう。





# 気になりました 気に入りました...

## 片付けがもっと楽しくなるデザイナー流コレクション

毎日の片付けや整理がもっとスマートに、楽しくできたら...。そんな悩みを一気に解決してくれる、おしゃれで機能的な雑貨たちを集めてみました。

### 和紙の風合いがやさしい、軽くて丈夫な

#### 「SIWA | 紙和 ランドリーボックス」



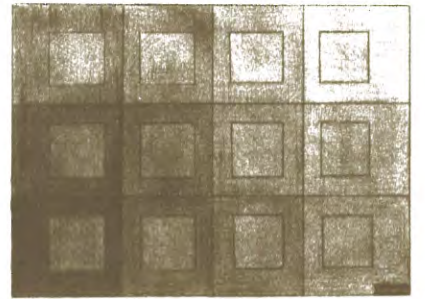
Sサイズ ¥4,500-  
Mサイズ ¥6,500-

SIWA | 紙和のランドリーボックスは紙で作られていても軽く、水を吸って重くなっている洗濯物を入れて運ぶのに、とっても使いやすいアイテム。素材は「ナオロン」と言われる通常の障子紙と比べると5倍の強度があり、濡れた状態のほうが更に強度が増すという特徴を持った紙を使っています。右イラストは同シリーズの紙和ボックス。

素材:RPFナオロン 生産国:日本  
サイズ:S 直径26×24.5cm、M 直径33×37.8cm

### ホテルライクな食卓に早変わり 「エンジニアード スクエアランチョンマット」

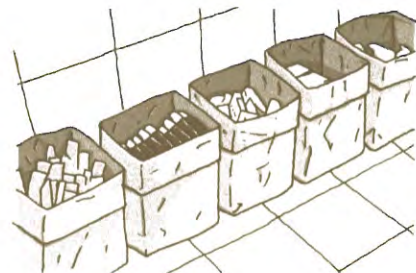
世界の一流ホテルやレストランから選ばれているチルウィッチ。デザイナー Sandy Chilewich 氏の作り出すカラーはセンス抜群です。デザイン性のある見た目と高級感があるマットの使



¥2,500-

用により、料理と器が引き立ちます。チルウィッチのランチョンマットやコースターはテーブルの雰囲気をワンランクアップさせ、華やかに演出します。衛生的でお手入れも手軽。ドリンク、ソースなどをこぼしても汚れは繊維に染み込みません。サッと拭くだけ、水で流せば表面を清潔にキープ。ホテル、レストランにおけるハードユースにも安心して用いられる耐久性

FULLangle  
Tel:06-6882-8181  
www.japan-interior.com



### シンプルで上品な靴箱で統一感のあるクローゼットへ。

ヌヴェル・ボヌール

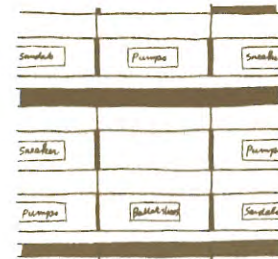
#### 「NOUVELLE BONHEUR 靴箱 レディースサイズ」

クローゼットや下駄箱を開けたときに、なんだか雑然とした印象。それは、いろいろなブランドの、サイズも色もバラバラの靴箱が並んでいるから。そこで上品なライトグレーにシルバーの箔押しでブランドロゴを印字した靴箱で統一。頑丈なボール紙に薄紙(タント紙)を貼り付け、手作業で丁寧に仕上げたBOXは、手触りのよさと丈夫さが魅力です。パンプスからべたんこ靴まで女性靴を網羅するサイズ感。すっきりと美しく、何度も開きたくなるクローゼット、下駄箱へと、この靴箱が導きます。



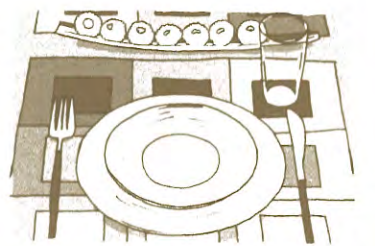
¥750-

サイズ:縦17.5×幅28.5×高さ9.5cm  
素材:紙  
生産国:日本



アンジェ web shop  
Tel:075-441-8855  
www.angers-web.com/

で長くお使いいただくことができます。



素材:塩化ビニル70%  
ポリエステル30%  
サイズ:約縦35.5×幅48cm  
生産国:アメリカ

## I'm Home

## 住み替えしませんか?もっと心地よい暮らしに。 House Pro

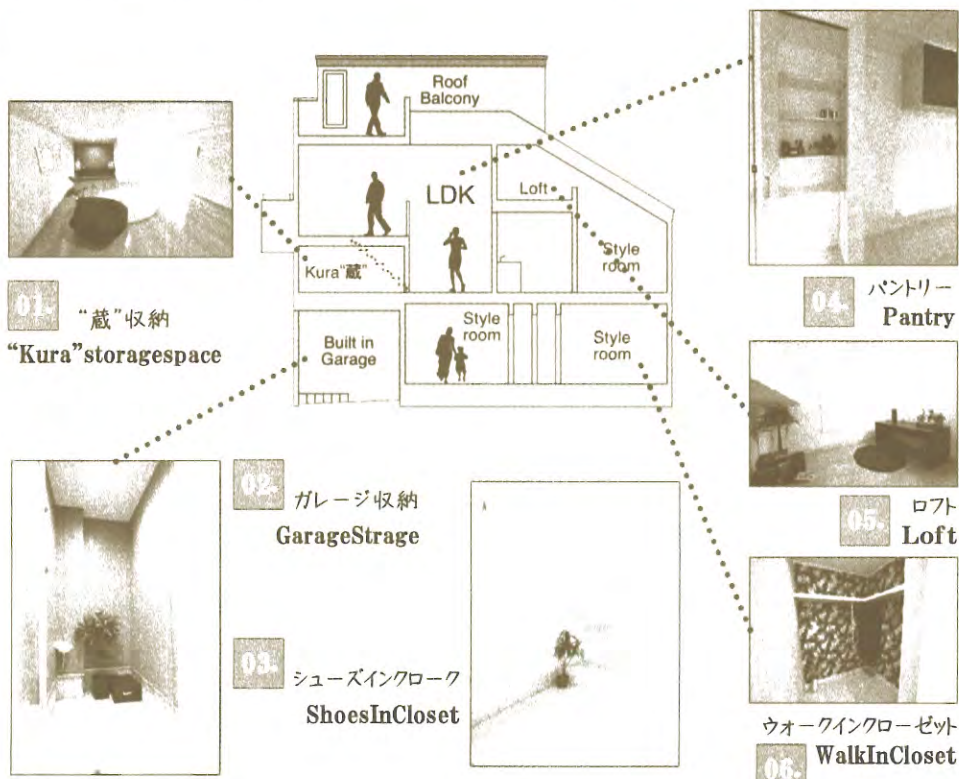
### ハウスプロがおすすめする暮らし方

Vol.6 大収納のある暮らし

#### 広く住むための新発想

美しく片付いた住空間を叶えるには、ライフスタイルに合わせた収納が欠かせません。大切なのは収納の広さだけでなく、取り出しやすさや使い勝手を考慮すること。長い目で見て、暮らしの変化に合わせていくことも必要です。収納のプランニングでよりよく暮らせる住まいづくりを。収納計画の一部をご紹介します。

- POINT ■ 生活動線をふまえた収納計画
- インテリアに馴染む美しさ
- ユーザーの声から生まれた使いやすさ



01. 縦に空間を使用することで生まれるスペースを、大容量の収納に天井高を140cm以内に抑えることで床面積に算入されず、季節用品や思い出の品もたくさんしまえます。
02. ビルトインのガレージから直結する、屋外用の収納。屋内外の両方から出入りできるようプランニングすることで使い勝手はさらに向上。お家のお片付けが片付きます。
03. 雑多になりがちな玄関にこそ余裕のあるスペースを。雨具や道具、ベビーカーなどもそのまま収納しておけるので、外出時や急な来客にも焦らずに対応できます。
04. キッチン横には、ストックの食材や食器などを収納できる専用の収納棚を。普段あまり使わない道具類やまとめ買いした食材なども見渡れやすく、整理のしやすいうれしいスペースです。
05. 居室の上部の空間を利用した収納スペース。大きな荷物もしまっておけるので、スペースを有効に使えます。書斎や趣味用に、ロフトを居住スペースとして使うことも。
06. 収納内に入って物の出し入れができる、大きめの収納スペース。扉を設けず部屋の延長のように使用するスタイルは使い勝手もよく、モダンな空間を演出する効果もあります。

ハウスプロのご提案する「収納計画」はモデルハウスで実際にご覧いただけます。理想の住まいのイメージをぜひ体感してみてください。

Stylish & Smart Life Creation 住まいをお洒落に愉しもう。

## センチュリー21ハウスプロ

〒274-0063  
船橋市習志野台3-18-7 フラワービル1階  
TEL 047-496-0001  
info@c21housepro.com



■ 特選物件公開中! ■ ハウスプロ